## 2月26日の伊予灘の地震について

## 

図1 観測点震度分布図(×は震央)

## 2024年2月26日 今回の地震 47km M5. 1 N=5404 2010年3月21日 2001年1月5日 広島県 44km M4.0 49km M4.0 ய்மீ 2014年10月16日 41km M4.0 2001年1月9日 愛媛県 46km M4.7 2015年4月8日 M4.1 47km 高知県 2010年4月17日 43km M4.3 M 大分 6.0 В 5.0 33° N 4.0 2021年6月19日 2002年4月6日 25 3.0 M4. 7 M4.4 42km 42km 133°E 132°E

図2 震央分布図 (1997年10月1日~2024年2月27日、 深さ0~100km、M≥2.0)

※2024 年 2 月 1 日以降の地震を<mark>赤色</mark>で表示 ※**緑色**の破線は南海トラフ巨大地震の想定震源域の北限

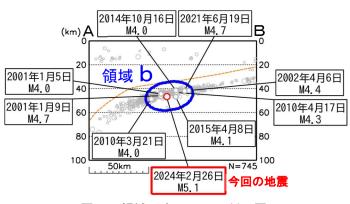


図3 領域 a 内のA - B 断面図 ※<mark>橙色</mark>の破線は今回の地震の震央付近を通る 北西—南東断面でのプレート上面形状

図2・図3中の<mark>橙色</mark>の破線は Hirose et al. (2008)、 Baba et al. (2002)のフィリピン海プレート上面形状

## ※情報発表時の震央地名は【愛媛県南予】です。

26日15時24分、伊予灘の地震(深さ47km、M5.1)により、広島県呉市・府中町、愛媛県今治市・西条市・松山市・伊予市・松前町・伊方町で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方で震度3~1を観測しました(図1)。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。この地震の発生後、29日15時までに震源付近で震度1以上の揺れを観測する地震は発生していません。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(図3の領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生しています(図2・3・4)。今回の地震は、これらの地震のうちでは最大規模となっています。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(図5の領域c)では、M6.0以上の地震も複数発生しています。このうち「平成13年(2001年)芸予地震」(M6.7)では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じました(被害は総務省消防庁による)。

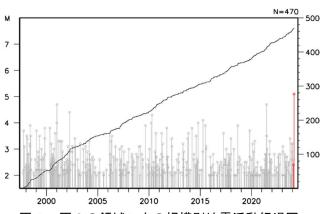


図4 図3の領域 b 内の規模別地震活動経過図 及び回数積算図

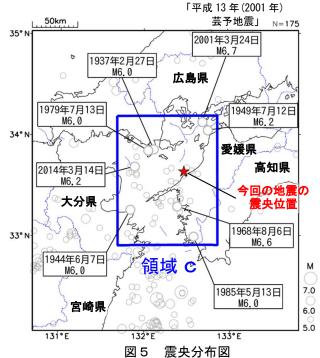


図5 震央分布図 (1919年1月~2024年2月27日、 深さ0~100km、M≥5.0)

※本資料は2024年2月27日分までの震源データを利用して作成しています。
※これらの震源データは暫定震源を含んでおり、再調査された後に修正されることがあります。